セルトレイ
灌注もできます
レタス、キャベツ、
はくさい

豊かな収穫へ行進!!

無人航空機
散布に対応

野菜用殺菌剤

パレード®20 フロアブル

適用
拡大

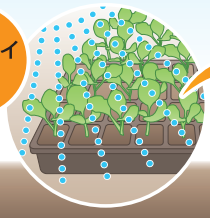
〈写真はイメージです〉

菌核病・灰色かび病など

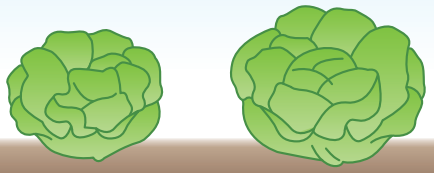
幅広い病害に高い効果を発揮!!
適用作物への薬害リスクが極めて低い!

菌核病防除の新体系!

セルトレイ
灌注



菌核病への効果が
約1ヶ月※持続!



※栽培形態や病害発生状況により変動する場合があります

レタス／菌核病

レタス／すそ枯病

非結球レタス／灰色かび病

キャベツ／菌核病

キャベツ／株腐病

はくさい／黒斑病

農林水産省登録第24071号

Ⓡは日本農薬(株)の登録商標

ISK 石原バイオサイエンス株式会社

殺菌剤分類　7

殺菌剤 パレード®20フロアブル

有効成分：ピラジフルミド…20.0%
安 全 性：普通物（毒劇物に該当しないものを指していう通称）

セルトレイ灌注の特長

パレード20フロアブルは新規有効成分「ピラジフルミド」を含有する野菜・畑作・花き用SDHI殺菌剤です。

■セルトレイ灌注処理で菌核病を防除できる

効果持続性を活かした新しい使い方の提案。セルトレイ灌注処理によって菌核病の初期感染部位である下位葉を長く保護することにより、本圃での発生を防ぎます。

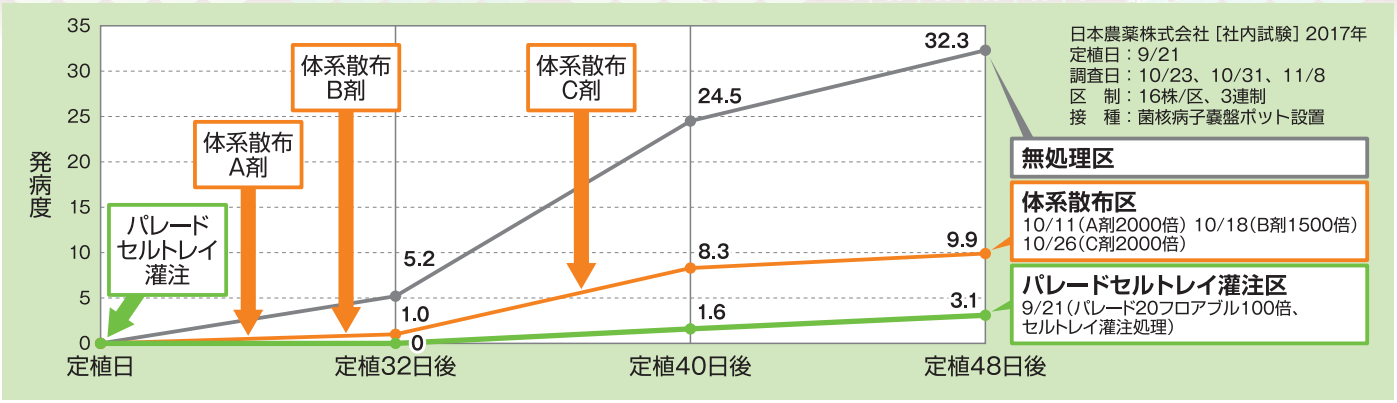
■圃場での作業軽減、処理の簡便さ追求

およそ30日間防除効果が持続し、本圃での薬剤散布回数の低減が期待できます。また、セルトレイにジョウロまたは動噴で簡便に処理できます。

■降雨の影響を受けにくく安心して使用できる

有効成分が根から吸収され植物体内に移行するので薬剤の効果は降雨の影響を受けません。また、薬剤散布作業が困難なトンネル栽培でも病害の蔓延を防ぎます。

セルトレイ灌注処理でのレタス菌核病に対する効果



適用病害虫および使用方法（抜粋）

黄色　が2025年7月に適用拡大になりました　　2025年7月現在の登録内容

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ピラジフルミドを含む農薬の総使用回数
はくさい	黒斑病、白斑病、菌核病	2000～4000倍	100～300ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内（灌注は1回以内）
	菌核病	16倍	1.6ℓ/10a			無人航空機による散布	
		20倍	2.0ℓ/10a				
		32倍	3.2ℓ/10a				
	苗立枯病（リゾクトニア菌）、菌核病	100倍	セル成型育苗トレイ1箱または、ペーパーポット1冊（約30×60cm、使用土壌約1.5～4ℓ）当り0.5ℓ	育苗期後半～定植当日	1回	灌注	
キャベツ	菌核病、苗立枯病（リゾクトニア菌）、根朽病						
	菌核病、株腐病、根朽病	2000～4000倍	100～300ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	
	菌核病	16倍	1.6ℓ/10a			無人航空機による散布	
		20倍	2.0ℓ/10a				
		32倍	3.2ℓ/10a				
レタス非結球レタス	菌核病、すそ枯病、白絹病	100倍	セル成型育苗トレイ1箱または、ペーパーポット1冊（約30×60cm、使用土壌約1.5～4ℓ）当り0.5ℓ	育苗期後半～定植当日	1回	灌注	
	菌核病、灰色かび病、すそ枯病	2000～4000倍	100～300ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	
	白絹病	2000倍					
	菌核病、灰色かび病	16倍	1.6ℓ/10a			無人航空機による散布	
		20倍	2.0ℓ/10a				
		32倍	3.2ℓ/10a				

《詳しくは製品ラベルをご確認ください》

注意事項

■薬剤耐性菌の出現を防ぐため、過度の連用はさけ、なるべく作用性の異なる薬剤との輪番で使用してください。
■灌注で使用する場合には、次の注意事項を守ってください。
①調製液をセル成型育苗トレイ又はペーパーポット上方から全体に行き渡るように灌注してください。また、薬剤の効果を十分に発現させるために、処理直前や直後の灌水はさけてください。
②キャベツ又ははくさいの苗立枯病に使用する場合、リゾクトニア菌による苗立枯病には有効ですが他の病原菌による苗立枯病には効果が劣るので、リゾクトニア菌以外による苗立枯病の混発が予想される場合には他の有効な薬剤と組み合わせて使用してください。
③キャベツの根朽病に使用する場合、育苗期間中の感染が主であるため、育苗期間を主体に使用することが望ましいです。
④レタスのすそ枯病に使用する場合、灌注処理での効果は生育初中期が主体であるため、その後の発生が予想される場合には他の有効な薬剤と組み合わせて使用してください。
■無人航空機による散布に使用する場合は、次の注意事項を守ってください。
①散布は散布機種の散布基準に従って実施してください。
②散布に当っては散布機種に適合した散布装置を使用してください。
③散布中、薬液の漏れのないように機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行ってください。
④散布薬液の飛散によって自動車やカラートタンの塗装等に被害を生じるおそれがあるので、散布区域内の諸物件に十分留意してください。
⑤散布終了後は次の項目を守ってください。
(a)使用後の空の容器は放置せず、適切に処理してください。
(b)機体の散布装置は十分洗浄し、薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理してください。
■適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましく、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。
■使用の際は農薬用マスク、不浸透性手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換してください。
■作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
■かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
■浸漬後の薬液は、河川等に流さず、水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届くところには置かないでください。

ISK 石原バイオサイエンス株式会社
〒102-0071　東京都千代田区富士見2丁目10番2号
ホームページ アドレス https://ibj.iskweb.co.jp

ホームページの製品情報へ

取り扱い

2507TK